

## 声 明 書

エネルギーは、国民生活の安定向上や社会経済活動の維持・発展に欠くことのできないものであり、快適な生活や経済の持続的発展を維持するためには、安定確保や価格の安定に向けた政策を進めることが大変重要となります。

当会は、三重県民のみなさまがエネルギーや環境問題について、国際情勢の不安定による世界のエネルギーを取り巻く現状と地球温暖化を始めとする気候変動問題等について認識いただいたうえで、周囲を海で囲まれ化石燃料にも恵まれず、エネルギー資源のほとんどを海外に依存し、自然エネルギーを活用する条件も諸外国と異なるなど、我が国が抱えるエネルギー供給の脆弱性の現状をしっかりと理解していただき、冷静な視点で、かつ、自らの問題として捉え、考え、行動していただくことを訴え続けております。

そのうえで、我が国の持続的発展や私たちの安心・快適・豊かな生活の維持に向け、「環境との調和を図ったエネルギーの確保」などにより脱炭素社会を実現することの重要性を講演会や見学会などの啓発活動を通じて、エネルギーや環境問題について理解を深めていただけるよう事業活動を展開しております。

世界のエネルギー事情は、ウクライナ情勢や中東情勢の悪化などを背景としたエネルギーに影響のある事象が各地で発生しており、海上輸送の要衝でも紛争等が発生し、安定供給への懸念が生じるなど、サプライチェーン全体の観点からも「エネルギーセキュリティの確保」がますます重要な課題となっています。

令和6年（2024年）の日本の平均気温は、平年値を1.48℃上回り、1898年の統計開始以降で最も高くなりました。このような異常気象は農作物などの生育にも影響を与え、大規模な自然災害などを引き起こす要因となっており、気候変動問題への対策が喫緊の課題となっています。

このためエネルギーの安定確保と脱炭素社会の実現に向けては、国のエネルギー政策の基本方針である、安全性を大前提に「安定的に」「経済的に」「環境に優しく」のS+3Eの視点を踏まえ、原子力発電については、安全を確保したうえで早期再稼働を進めるとともに、多様なエネルギーをその特性を活かして組み合わせる「最適なエネルギーミックス」を実現することが重要であります。

そこで、当会は、会員の皆さまとエネルギーや環境問題について理解を深める活動を実施するとともに、第7次エネルギー基本計画で示されました、再生可能エネルギーや原子力発電などの脱炭素電源の最大限の活用への必要性和核燃料サイクル、廃炉、高レベル放射性廃棄物の最終処分などの課題について、講演会や見学会およびメディアなどを通して、情報発信していく活動を一層推進してまいります。

これらを踏まえた脱炭素社会の早期実現に向け、経済産業省中部経済産業局、三重県、三重県議会ならびに県内市町と市町議会、経済界を始めとする関係諸団体との連携を図るとともに次の事項について、要望いたします。

## 要 望 事 項

### 三重県、三重県議会

- 1 エネルギーや環境問題への理解に資する情報発信と諸施策の推進
- 2 脱炭素社会の実現に向けた諸施策の積極的な推進
- 3 将来において目指すべき社会を実現する担い手である、次世代層に対するエネルギーや環境教育の積極的な推進
- 4 「第7次エネルギー基本計画」に基づく諸施策の展開と県民に向けた理解活動の推進

### 経済産業省 中部経済産業局

- 1 我が国の持続的発展につながるエネルギー施策への理解活動の推進
- 2 安全性、安定供給、経済性、環境適合性を確保したエネルギーミックスの実現に向けた諸施策の確実な実施
- 3 「第7次エネルギー基本計画」に基づく諸施策の展開

以上、声明いたします。

令和7年6月4日

21世紀のエネルギーを考える会・みえ